

TAKE FREE

船も夢もでっかく、

世界！GO！五祥！

全長 100m!



MINI CARS STORY

記憶に残る一台を、
メイキングストーリー
vol. 02

愛知県名古屋市中区に本社を置く株式会社小島組は、港湾土木の浚渫工事の分野で日本トップクラスの実績を誇ります。近年は世界各国のセネコンからも依頼を受け技術を発揮しています。

今回フィギュア化となった「五祥」は世界最大のクレーン浚渫船としてギネス世界記録簿に認定されています。

2019年には、創業100周年を迎え、大正・昭和・平成・令和の時代を歩んできました。

株式会社小島組
「五祥」



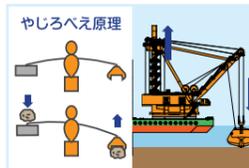
世界最大のクレーン浚渫船「五祥」のご紹介



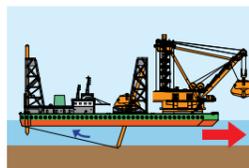
世界最大容量クレーンと自動制御水平掘り装置を装備し、高精度・高効率の浚渫作業を実現。



容量200立米、重量370トンの油圧式クレーンは、強力な掴み力があります。自動制御の水平掘り装置で、高精度・高効率浚渫を実現します。(特許)



クレーンの自重と釣り合ったカウンタウエイトが昇降用ワイヤに接続された、バランス型のクレーン昇降システムで、旧来のウインチ方式に比べ、約50%燃料の節約(想定)



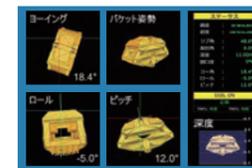
2本のスパッドを使い、浚渫作業中に押船やアンカーワイヤの補助なくスピーディに前進移動ができます。操作室から1人で操作できます。(特許)



重機運転室で、浚渫機の旋回、クレーンの開閉・昇降の操作を行います。 ※スパッドの操作は重機運転室ではできません。



巨大な船体を動かすため、特注の巨大なエンジンを3機搭載しています。長期間、24時間休みなく稼働するため、交互にメンテナンスを行います。



『施工管理及びバケット位置測定システム』を使い、位置情報、慣性センサーによるバケットの状態を3D表示して作業が可能です。

五祥ミニチュアフィギュアキーホルダー



SPEC	
スケール:	約1/2000 (全長約45mm)
材質:	PVC、鉄
包装:	カラー台紙、OPP
制作台数:	5000台
制作期間:	約6ヶ月

他にもミニカー実績多数あります、ご予算、ロットに合わせ製作します。ご相談ください。



東武商事様
【強力吸引車】
スケール: 1/64 (約13cm)
材質: 亜鉛合金/ABS/PS/PVC



服部コーヒー様
【周年記念トラック】
スケール: 1/43 (約15cm)
材質: 亜鉛合金/ABS/PS/PVC



NEXCO中国日本様
【ハトロールカー】
スケール: 1/60 (約8cm)
材質: 亜鉛合金/ABS/PS/PVC

03-5781-6789

info@mini-factory.co.jp (担当: 羽山)

株式会社ミニチュアファクトリー

企業の周年記念品や販売商品として、オリジナルのミニカー制作をおこなっております。
実事に忠実な再現を大事に、専門のスタッフが工場と密接なやりとりをおこない製造に取り組んでおり、2003年の創業時から40車種、50万台を超える制作実績があります。



東京支店 〒140-0011 東京都品川区東大井 1-20-1
本社 〒460-0011 名古屋市中区大須 1-24-51 パウハウス大須 2F
https://www.mini-factory.co.jp



ミニカーズストーリー vol.02
企画・制作・発行/株式会社ミニチュアファクトリー
取材・文/江口桃子
撮影/ミスター(恒川憲一)
デザイン/廣瀬文洋
編集/井上陽介、恒川琢朗、羽山進

編集後記
五祥を大冒険！楽しき溢れる会社
今回の取材にあたり五祥にお邪魔し、船内の各部屋や設備を見学させていただきました。たくさんの方の工具や配管など、普段の生活では見ることができなくても貴重な経験になりました。実際にクレーンが動く様子には社員の皆さんも我々もテンションMAXでした！インタビューの際には社員の方々がフィギュアや事業について本当に詳しく熱くお話しされていて、社内の雰囲気も良さがこちらにも伝わってきました。フィギュア完成後のエピソードはまだまだ本誌に書ききれないほどお聞かせいただき、製作側としても嬉しい時間でした。

感動のクオリティ。ぜひ

実物と見比べて！



五祥といえば規格外のでかさ。うまい具合にデフォルメされたなあ。

せっかくならフベルトイをコレクションしたい！

▼まずは、五祥のフィギュアを作ろうとなったきっかけを教えてください。

山内：以前、第361良成丸(以下361)のフィギュアを作ったのですが、社内で喜ばれ「せっかくならコレクションしようよ」という意見があったことがきっかけです。

小島：五祥がシンガポールから帰国したタイミングで制作をお願いしました。

山内：361は、作業船のフィギュアがあったらいいなという話をしていたのと、他社がイベントでフィ



すか？またインスタグラムのフォローワーさんからの反応はいかがでしたか？

山内：作業船が好きなインスタグラムのフォローワーさんにお送りしたらとても喜んでいただけました。出来上がる経緯も載せていたため皆様に楽しんでいただけたと思います。社内では特に新人社員などの若い世代から「家族の分ももらっていいですか？」と聞かれたりしました。私の友人の子供にも渡したら手放さなくなっちゃいました(笑)

近藤：家族が「欲しい」と言っていました。監督をしている方だと特に「父ちゃんの子供の船だ！」と反応してくれると思います。



1 設計図面

マニアックな部分も再現。そのままの五祥をギュッと縮小

▼フィギュアを作っていく中で、特にこだわってオーダーした部分がありますか？

小島：全部と言えは全部なのですが(笑)、色については最新のグリーンの状態に合わせました。クレーンのブームの角度などのマニアックな部分も再現されています。

KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho.

▼事業についてお伺いします。浚渫工事という言葉を初めて聞く方も多いと思うのですが、具体的にどういったことを行うのでしょうか？

山内：そのままの五祥をギュッと縮小したところですね。

小島：せっかくりアルなフィギュアができたので、そこからホームページで写真を見てもいい見学会で実物と見比べて「でかー！」となってくれたらいいなと思います。

▼フィギュアの「ここを見てほしい」という推しポイントを教えてください。

山内：361で工程がわかっていたのですが、図面も3Dもすこいなど改めて思いました。着色前のグリーンの状態もカプセルトイのシークレットみたいでかっこよかったです。

▼各工程でサンプルを見た時の印象はいかがでしたか？

山内：見栄えと強度との兼ね合いも頑張っていたので、シークレットにもちゃんと窓があるんですよ。船底のスパッドも、船の移動方法をお客様に説明するのに丁度いいのかな。

五祥は規格外のでかさ！目指すは全世界

KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho.

KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho.

ギニアを配布していたのがつらやましくて。当時の社長(現会長)に「作業船のフィギュア欲しいです」と提案したら「いいよ、作ろうよ」と言ってもらえました。

短い納期でもいい対応をしてくれた

▼プロジェクトチームのメンバーについて教えてください。

山内：ほぼ私です(笑)ですが私は船のことは元々専門外なので、知識が足りない部分を小島取締役や船担当などに補ってもらいながら進めていきました。

▼フィギュア制作をミニチュアファクトリーに依頼した理由は何ですか？

山内：本当は最初に五祥フィギュアを作る予定でした。最初はインパクトのある見学記念品を相談した。特長であるグラフ部分の開閉するストリップを提案いただきました。そんなアイデアから船全体のフィギュアになりました。急遽のため納期が短くなり何社から見積もった中でミニチュアファクトリーさんには素晴らしい対応をしていただき、依頼しました。なるべく地域の事業者とお付き合いしたい思いもあったので、名古屋本社というのも決め手でした。

クオリティに感動！試作が上がることに嬉しく

▼プロジェクトを進めていく中で印象的だったエピソードはありますか？

山内：五祥の制作ではゆっくり打ち合わせができましたし、361よりフィギュアのクオリティが上ります。

▼プロジェクトを進めていく中で印象的だったエピソードはありますか？

山内：港を作る際に船が入ってこられるように水深を下げて航路を作ったり、埋立地の周りに大きなブロックを並べるために平らに整えたりします。

山内：川でも災害対策のために浚渫工事を行うことがあります。

小島：なるべくならない仕事ではありますが、近年は埋立地がないのが問題になっています。ですが今後また埋立地ができれば浚渫工事が増えるかと思えます。

▼ギネス世界記録™に認定されている五祥の「ここがすごいぞ！」という魅力をお話してください！

近藤：やはり規格外のでかさじゃないでしょうか。あの大きさは他にないです。

小島：いきなりでかくなつたんですよ。日本では大きくても30mくらいなのですが五祥は200mなんです(笑)361でも30m、661が56mなので、一気に200mに飛んでいくという先代の会長の考え方がすごいです。

▼昨年創立100周年を迎えられましたが、

3D CGモデリング

図面を元に、金型からの抜き勾配や彩色やも考慮してモデリングをしています。分割が多いと破損リスクが高くなるため、再現とデフォルメのバランスが大事です。

原型モデル

モデリングしたデータを実寸サイズで3Dプリントして確認をします。データ上では問題なさそうでも、出力してみると細かすぎたりするため、微調整をします。

2 原型

KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho.

KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho. KOJIMAGUMI gosho.

3 完成!!



各工程で進行後に前工程に戻ることがあると、時間も費用も(大きく)かかるので細かく打ち合わせを重ねます。徐々に出来上がっていく過程はワクワクします。



コンプリートしたいね

110周年、120周年、その先に向けての目標があればお聞かせください！

小島：常に新しいことをやり続けたいのと、「小島組の船は全世界に行きたい」と言えるようになってほしいですね。日本の浚渫業者の中では名前が売れているんですが、海外ではまだまだなので、山内：沢山の方に「作業船」を通してワクワクしてもらいたいです。今後はグラフ浚渫船以外のフィギュアも作って、ゲーム感覚で連発の作業を説明できるとおもしろいですね。「コンプリートしたいな」と会長も言っていました(笑)

私も負けずにかいです

小島取締役

▼制作過程のチェックも山内さんが担当されたのでしょうか？

山内：はい。ある程度は私が見ていましたが、他の社員にも協力をしてもらいました。当時の社長に「できました、どうですか？」と見せたら「いいんじゃない？」と言ってもらえました。社長自身も完成を楽しみにしていて、試作が上がると嬉しそうでした。

フオロワーさんにサプライズプレゼント。若い社員にも好評

▼フィギュアが完成して、社内の方々やお客様、ご家族などからの反応で嬉しかったものは何ですか？

